

(和歌山県すさみ町) 観光拠点・防災道の駅中心の複数分野における高度化・自動化学業

■ 事業のセールスポイント

町内人口の200倍(年間80万人)の観光客が訪れ、防災道の駅指定の「道の駅すさみ」を中心に、大規模災害時を想定し、避難所や道の駅との物資供給依頼がデジタル化され、自動化された効率的な物品配送による防災対策を構築。本事業は内閣府申請済の「南紀熊野スーパーシティ構想」と連携し、南紀熊野・全国エリアへの展開を目指す。

位置図



■ 対象区域の概要

- ・ 名称：和歌山県すさみ町
- ・ 面積：174.45km²
- ・ 人口：3,647人
(令和4年8月31日現在)
- ・ 主要産業：
農林漁業、観光業

■ 対象区域のビジョン

- ・ ワークーション推進等で関係人口増加、住民化促進
- ・ 社会インフラ整備と大規模災害対策で住民流出抑止

■ 本事業全体の概要

スマートシティ実装化への取組みにより、観光分野における「観光立町推進」、防災分野における「大災害への備え」を、ICT技術を活用したデジタル化・自動化・効率化により推進する。



(和歌山県すさみ町) 観光拠点・防災道の駅中心の複数分野における高度化・自動化学業

■ スマートシティの目標

<スマートシティによる地域全体目標>

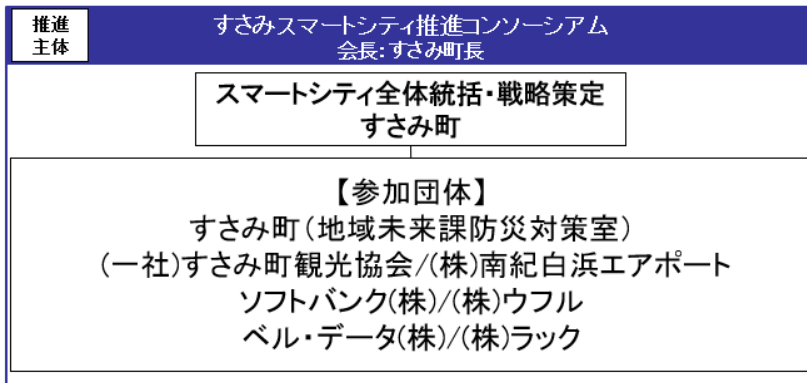
- ・観光客数の増加(令和元年達成の年間観光客数100万人へ令和3年度引き戻し、令和4年以降で年率10%増加)
- ・関係人口の増加(令和6年までに企業誘致1件以上)
- ・住民化の促進(令和6年までに移住件数10世帯以上)

<本事業における目標>

- ・観光かつ防災ポータルサイト環境構築と試験
- ・3次元地図とドローンでのレーザー測定の差分による道路上の障害物や異常検知精度分析
- ・物資輸送/インフラ点検要望データ化アプリケーション構築

■ 運営体制

<体制図>



■ 導入技術

<導入技術3点>

技術① : 観光防災ポータル等で、平時は観光情報やアクティビティ情報を、緊急時には防災ポータル情報を、各種サービスとデータ連携された状態で稼働可能なテストポータルサイトを構築

技術② : スマートフォン物資輸送/インフラ点検要望をデータ化しドローン配送や点検を実施

技術③ : ドローンによるレーザー測量とドローンシミュレーション用に準備した3次元地図を比較し、一般車両及び自動運転車の妨げとなる道路上の障害物や異常検知精度検証を実施

<実証実験図>

実証技術①
防災備蓄プラットフォーム



連携

実証技術①
観光防災ポータルサイト映像表示器



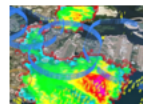
連携

実証技術②
住民要望集約アプリケーション



連携

実証技術③
3次元地図による道路上の障害物検知



連携

データ連携基盤

実証実験実施の拠点
道の駅すさみ
※防災道の駅認定



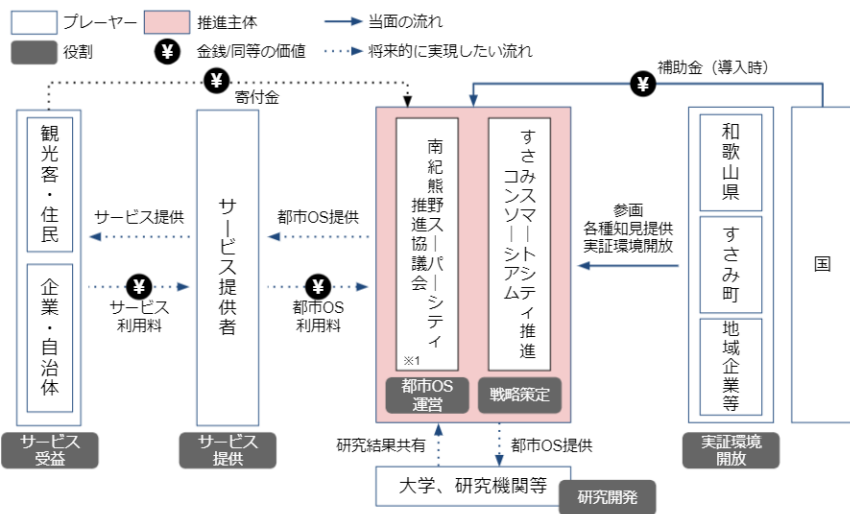
出典: すさみ町役場HP
出典: すさみ町観光協会HP

(和歌山県すさみ町) 観光拠点・防災道の駅中心の複数分野における高度化・自動化学業

■ ビジネスモデル

- ・通常時は各技術を観光業等で活用し、災害発生時は同じシステムが防災で活用する。その結果、初期費用やランニング費用を受益者で分割して費用按分を実施する。
- ・観光客及び住民が主な受益者であり、南紀熊野スーパーシティ構想も含め年間10万人単位の増加を目指し持続可能なモデルを目指す。
- ・推進主体において、ふるさと納税等の寄付の使い道にスマートシティ取組みを加えることで、初期費用やランニング費用に充当する。

<想定ビジネスモデル図>



※1: 本協議会はスーパーシティ構想推進の際に設立し、都市OSは南紀熊野スーパーシティ構想で申請済の内容を活用予定。

■ スケジュール

<令和4年度スケジュール>

- ・令和4年度内に実証実験完了を目指す

実施項目	令和4年度								
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
住民説明・周知	[7月 - 12月]								
データ連携仕様検討	[7月 - 9月]								
データ連携開発	[9月 - 11月]								
データ連携試験	[11月 - 12月]								
防災観光ポータル	[12月 - 1月]								
データ連携基盤と接続するサービス開発	[9月 - 12月]								
3DMAPを活用した自動運転の異常検知(軌上検知)	[9月 - 10月]								
異常を想定したドローンの検知実験	[10月 - 11月]								
報告書作成	[1月 - 2月]								

<長期スケジュール>

- ・2025年度実装を目指し事業を推進

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
スマートシティ関連事業					
防災道の駅中心の防災対応高度化・自動化学業		○令和3年度取組み実績/知見連携 【防災分野】実証実験	【防災分野】実証実験	商用開発	社会実装
観光拠点・防災道の駅中心の複数分野における高度化・自動化学業		【観光分野】実証実験	商用開発	社会実装	
データ連携基盤		基本設計/試験環境構築	実証・基盤構築	社会実装	

事業将来像

本事業では、大規模災害への備えとして「孤立集落発生(生活集落が分散していることによる)」「長期化する災害対応(行政の人手不足による)」「きめ細かい物流網構築困難」の課題への解決策となる事業を目指す。また、物流、防災での住民向け取組を観光分野の課題である「観光客への災害発生時の対応」へ連携して取り組む。

